



チャレンジ! グリーン活動

生物保護コース

観音寺市立伊吹小学校

全校委員会

伊吹小学校児童5名によるグループです。全校児童がみんなで協力して自然保護活動をしています。児童は、みんな明るく元気で学校が大好きです。フジバカマの朝の水かけ、キジョランの栽培やアサギマダラのマーキング調査をして、伊吹島の自然環境とアサギマダラの生態を観察しています。春と秋の飛来観察を継続して7年目。アサギマダラパンフレットで伊吹島の良さを伝えました。

目標

伊吹島にアサギマダラをよぼうプロジェクト2022

指標

- ・ 校庭にフジバカマ・キジョラン・スナビキソウを植えて、秋にアサギマダラを100頭以上飛来させる。また、キジョランの種から苗を育ててアサギマダラに産卵させ、成長の様子を観察する。アサギマダラの保護を目指して、産卵に必要なキジョランやガガイモの栽培にも取り組む。
- ・ 運動場の砂地にスナビキソウを増やし、春の飛来数を2桁に増やす。スナビキソウの観察もする。

活動の様子

6月27日(月)アサギマダラ飛翔会の方のお世話でフジバカマの苗を35本を大きな鉢に移植した。大きな鉢(昨年のチャレンジレンジグリーンの参加賞)は、土の量が多いので水持ちがよく気温が高い夏でも管理がしやすいと考えた。今年も5年目のキジョランにまた2個の実ができた。昨年と同じく秋まで観察することにした。春の飛来が期待できるスナビキソウの草引きをして春の飛来数を増やすことに挑戦した。



大きなプランターに苗を2株植える



飛翔会の「一人一株運動」の説明を聞く

2016年～2022年の7年間フジバカマを植えてアサギマダラの飛来を観察。毎年10月10日～11月10日頃の約1ヶ月間、秋の日本列島南下途中に伊吹島に飛来する。気温が20度前後でよく晴れた朝8時頃から16時頃までアサギマダラの観察ができる。これまでの延べ飛来数300頭前後で、遠くは山梨県都留市、石川県の白山でマーキングされた個体が確認されている。2020年には、約100個の卵をキジョランで確認し、無事5個が成虫になった。今年もキジョランに日よけをし、卵から成虫までを観察した。観音寺アサギマダラ飛翔会と連携した。

<本年度、工夫できた点・挑戦できた点>

今年は、梅雨時期に雨が少なく、8月は連日の猛暑で水かけが十分できずに枯れてしまう株があった。そこで、大きめのプランターに苗を植えた。水かけが簡単にできるよう穴あきホースにした。キジョランを新たに4株植えて秋の産卵に備えた。秋開催の瀬戸内国際芸術祭2022に配布する「アサギマダラパンフレット」を1500部作成した。

目標の達成度

フジバカマ鉢植え栽培は成功。発芽後、木陰にキジョランの苗を移動したので苗が育った。大きいプランターに苗を植えたので枯れるものが減った。今年も10月11日に秋の飛来があり、徐々に増えている。観音寺アサギマダラ飛翔会の「一人一株運動」のお話を聞くことができた。